

「聖なるクソ度胸」：エプステーンの自殺作戦は人類への 深刻な警告

【訳者注】「ハザール・マフィア」という言葉を知る人は、ごく少数であろう。イルミナティとか New World Order という重要な言葉でさえ、メディアではタブーになっているのだから当然であろう。下の挿絵は、我々の一つ前の記事をも説明している。鉤爪で捕まえられているのは地球全体である。アメリカの犯罪史上、最悪と SOTN が言っている、このエプステーン「ニセ自殺」事件について、「政治的正しさ」の枠を踏み外すなど、米政府に対して警告している、世界唯一のアンタッチャブル権力は、日本のメディアに対しても、同じ警告をしているはずである。この恐ろしい権力がどういうものかは、ここに箇条書きにして説明してある。この重大ニュースがわが国で無視されている理由が、それ自体重大ニュースとして伝わってくる。救いは、最後に書かれているように、「彼ら」がかつての勢力もっているわけではなく、完全に衰えているということである。だからこそ、何をするかわからないという恐怖がますます深刻になる。

SOTN (State of the Nation)

August 11, 2019



ハザール・マフィア

(黒覆面の人物が鉤爪で地球を掴んでいる)

歴史上最も価値ある証人で、嚴重に監視されている囚人を「自殺させ」、何の咎めも受けないほどの、権力と影響力をもつ勢力は、今日、世界に一つしかない。

それはどのような者たちか、ご存知だろうか？

そのカギは、この記事のタイトルにあるイディッシュ語——聖なるチュツパ（Holy Chutzpah=聖なるクソ度胸）にある。

関連記事：「ハザール・マフィア：〈ブラック貴族〉の武力担当部局」

<http://themillenniumreport.com/?s=khazarian+mafia>

予言通りに、世界を運営している隠れた権力が、高度に嚴重な刑務所の特別収監ブロックに収監されていた、ジェフリー・エプステーンを「自殺させる」という、不可能なはずの仕事をやったのけた。参照：——「自殺？ 米歴史上、最も有名な、嚴重に監視されていた囚人が、どうやって自殺できるか？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=126589>

米刑事裁判の歴史で、最大の害を及ぼした犯罪者に「ニセ自殺」させるという、この鉄面皮の行動について明らかにしておこう：——それは大きな目的があって、地球上のあらゆる人間に、絶大なメッセージを送ることを意図して、犯されたものだ。そして、それは成功した。

意図されたメッセージとはこういうことである：——

権力当局（The Powers That Be, TPTB）は完全にアンタッチャブルだ。

権力当局は、世界のどんな人物でも、殺し、自殺させ、誘拐することができる。

簡単に消すことのできないどんな人間も、彼らの世界的な、厳しくモニターされた領域の内部にいる。

そして、誰が殺され、行方不明になろうと、犯行者は決して捕まることも、起訴されることもない。

TPTB は、9.11、オクラホマ・シティ・ビル爆破事件、BP メキシコ湾原油流出事故、ラスベガス大量乱射事件などでわかるように、完全に法規の適用を免れている。

彼らは、どんな犯罪でも、いつでも、どこでも、好きなように犯し、現実的に、永久にそれを隠ぺいすることができる。

エプスティーンのような、有名な億万長者の有罪犯人を、中立化することによって、彼らは、どんな犯罪陰謀の証言も、その共謀事実も、消滅させることができることを証明した。

エプスティーンと共謀した者たちへのメッセージ：——あなたは話し、歩き、…やがて大西洋の真ん中で板を踏み外す。(注：これは海賊の処刑法)

同じ犯罪者どもが、JFK、RFK、それに MLK (マーチン・ルーサー・キング) の暗殺でやったように、これらトップレベルの殺し屋は、きまって、あらゆる分野の指導者たちに、自分たちに手を出せる者は誰もいない、と報告を送っている。

深層国家の規制に違反する者は、誰でも、死か、もっと恐ろしいことを覚悟しなければならない。これこそピラミッドの頂点にいる者の、第一のメッセージであり、彼らはエプスティーン「殺し」を用いて、グローバル権力構造の存在を知らせている。

見せしめのメッセージ

憶えておいていただきたい——彼らは、1963年の11月22日のジョン・F・ケネディ大統領のときも、同じことを行った。それは、完全に公開された、暴力的な彼の処刑を、警告としてあらゆる国家のトップに見せつけて、「政治的な正しさ」から道を外すようなことは、夢にも考えてはいけないことを、知らせるためだった。

これは完全な真実である：—TPTBは、この惑星のあらゆる場所を所有し、そこで活動している。彼らは際限のないテロ活動によって、世界を効果的に支配しており、アメリカはその第一の活動場所にすぎない。参照：—「**グラディオ 2019：292件の大量乱射事件が、どうしてアメリカで7か月以内に起こったのか？ 意図をもつ計画としか考えられない**」
<http://stateofthenation2012.com/?p=126313>

存在の地球地平の現実を操作する、彼らの権力は、絶対的とも言えるもので、彼らは今、神のように振舞っている。

そして彼らは、おそらくすでに、ジェフ・エプスティーンを、どこか、トップシークレットのイスラエルあたりの地下モサド施設で、「生き返らせて」いるであろう。しかし、おそらくそこは、テルアビブに十分近い場所で、そこを訪れるアメリカの若い女性の旅行者を、捕まえるのに都合のいい場所であろう。

特別ノート：

誤解のないように言うておくと、この人類史の危機に、いまだに暗黒側が、地球の領を効果的に支配しているのは確かだが、彼らの力は日毎に衰えている。インターネットの光がますます強力になるにつれて、これまで知られなかった真実が、公然と現れ始めている。例えば、地球上のあらゆる住民が、「ペドグイト」して知られる権力エリートの支配機構のことを、無数のウェブサイトで読むことができるという事実自体が、全くこれまでになかったことだ。かつて完全に秘密の中で働いていた暗黒勢力が、大きく明るみに押し出されている。なぜなら、今までは、極端な秘密と隠密行動があつてこそ、何千年間も、テロが継続して支配してきたのだが、それはこの千年紀にすっかり変わってしまった。今、我々のすべてが、彼らの New World Order アジェンダのことを知るに及んで、彼らの悪意ある計画は目に見えて挫折している。同様に、彼らの One World Government の計画も十分に暴かれたために、今それは放棄されている。TPTB は、この時点で、We the People (我々人民) の怒りを免れていることは、ラッキーというべきだろう。

いったい、主流メディアと代替メディアが、声を一つにして叫ぶのを聞いた人が、これまでにあつたらうか——エプスティーンがニセ自殺をさせられ、それはフェイク作戦だと、彼らが共に叫んだこの日のように！ **こんなことが、これまでに起ったことはない。**大統領と主流メディアが一緒になって、エプスティーンの本当の運命と、彼があとどうなったかについて、真剣に疑惑を表明しているとすれば、**世界が、どれほど急速に変わりつつあるかが解かるであろう。**SOTN は、彼らがこの欺瞞の汚い行為を試みる2週間前に、エプスティーンを自殺させる彼らの不幸な計画を、予言さえしていた。「**エプスティーンが、ニセ旗のペテンによって自殺させられる方向を、すべてが指している**」

<http://themillenniumreport.com/2019/07/everything-points-to-epstein-being-suicided-via-a-false-flag-hoax/>) 実際のところ、この機能しない、無力の NWO 陰謀団全体が、完全なニューヨークになってしまった。今こそ、この地獄のような笑い物を、永遠にこの惑星から葬り去る時である。

——以上